

残したい“日本の音風景100選”

工場・事業場等への騒音対策と共に、新しい音環境保全対策として地域における地方公共団体、住民などのあらゆる主体が積極的に音環境を保全する取組みを応援していくため、平成8年に環境庁による残したい“日本の音風景100選”が選定されました。

全国から738件の応募があり、日本の音風景検討会による選定審査の結果100件が選定されています。

岐阜市では

長良川の鵜飼

岐阜市や関市で営まれる長良川の鵜飼が、残したい“日本の音風景100選”に選定されています。かがり火の下で素朴に、そして華やかに繰り広げられる1300年の時を越えた伝統漁法は、鵜匠の「ほうほう」とするかけ声、船頭の船べりをたたく「どんどん」という音と共に辺り一帯を幻想的な古代絵巻様の世界に満たします。

岐阜県では

卯建の町の水琴窟

美濃市の旧今井家の奥座敷から眺める中庭の一角にある水琴窟が選定されています。水琴窟から響き渡る澄んだ音は、江戸時代の民家の建物様式として「卯建」が残る町並みと共に辺り一帯を侘び寂の世界に満たします。

吉田川の川遊び

郡上郡八幡町にある吉田川でたわむれる子供たちの歓声と水音が選定されています。12mもの高さのある新橋から飛び降りる前の静寂、気合を入れる掛け声、飛び降りたときの水音と歓声は、町中を流れる鯉の泳ぐ用水、小駄良川沿いの湧水「宗祇水」など水と親しむ町並みと共に懐かしい故郷風景です。

全国では

環境省ホームページ「残したい日本の音風景100選」をご覧ください。

<http://www.env.go.jp/air/life/oto/list.html>